筑波大学附属駒場中・高等学校研究報告　第31集　1991年11月

英語科研究プロジェクト

中高一貫教育における LL 学習指導のあり方を探る（2）

（3年計画2年次）

筑波大学附属駒場中・高等学校　英語科
加藤　裕司・久保野雅史・古賀　敦子
谷口　幸夫・鈴木　文子・辻　　弘
中村　　豊

英語科研究プロジェクト

中高一貫教育における LL学習指導のあり方を探る（2）

（3年計画2年次）

筑波大学附属駒場中・高等学校　英語科
加藤　裕司・久保野雅史・古賀　敦子
谷口　幸夫・鈴木　文子・辻　　弘
中村　　豊

1．はじめに

1990（平成2）年度は，本校に新・LL教室が設置されて，初めて年度当初（4月）から年度終わり（3月）まで1年間を通して授業を行うことができた。しかも，中学1年から高校2年までの5学年，さらに高校3年の一部（英語ⅡB）でもLL教室を活用したのである。まさにフル回転とも言えるほどであった。

しかし，実際にLL教室での授業を進める前には大きな問題点があったことをここで明らかにしておきたい。それはLL教室で使用可能な教材は，音声教材や映像教材の種類は数多く存在しているのだが，当該学年にふさわしいものを選ぶ際に何ら拠り所がないのである。つまり，星の数ほどある教材のうち，どれを（what），いつ（when），どのように（how），何の目的で（why），誰に対して（who）使用するかという情報がまったくといっていいほど入手する術（すべ）がないのである。

このことは，今までLLの授業を受けたこともない，担当したこともない教師がLLでの授業を受け持ったときに，かなりの障害になることは容易に想像できるであろう。事実，1990年度は事情により2名の新任教師が担当することになり，しかも二人ともLLでの指導経験は皆無であった。それでは，今後LL教室を新設・改修する中学，高校が増加する状況で，同じような事態を抱えた際にはどう対処していけばよいのであろうか。

2．本稿の目的

本稿では，以下の2点を報告し，我々の実践を踏まえた上で，LL教室運営のありかたについ

て一つの方向性と指針を提言することを目的としている。

(1) 1990年度における中学1年から高校3年までの授業実践。ただし，非常勤講師担当の高校1年の実践例を除く。

(2) 現在取り組んでいるAV教材のデータベース作成の中間まとめ

3．授業担当者一覧

1990年度にLL教室での授業担当者は，次の通りである。なお，これらはいずれも正規の授業としてカリキュラムに組み込まれたものであって，他の教官も，自分の担当教科の枠内で，LL教室が空いているときや放課後等に適宜使用していた。また，早朝において英語クラス（顧問：辻）の利用があったことも付記しておく。

学年	担当者
中学1年	谷口　（1単位／5単位中）
中学2年	古賀　（1単位／5単位中）
中学3年	谷口　（1単位／5単位中）
高校1年（英語Ⅰ）	尾崎　（1単位／4単位中）
高校2年（英語Ⅱ）	古賀　（1単位／5単位中）

上記の他，高校3年の英語ⅡB（3単位：担当者　加藤）のなかでも，特に2学期後半にかけてリスニング指導を集中的に行うためLL教室を活用することもあった。

4．実践報告

4．1　中学1年（谷口）

以前のLLシステムは，音声テープ中心で構築されており，ヘッドセットで音声テープを聞いて，口頭練習することがその主な学習活動であった。しかし，最近のLL教室には，AVのV，つまりVisual重視ということで，テレビモニターが各ブースに標準装備されている。本校のLLシステム（AKAI）では2名に1台のテレビモニターが備わっている。この状況を踏まえ，映像教材のwhat to useとhow to useが授業の成功のカギを握っているといっても過言ではない。

4．1．1　授業の構成

特に中学1年生の授業は入門期ということで，基本的なコミュニケーション能力を養成させることを念頭において，1時間のLL教室の構成をおおよそ次の6つの場面に分けている。

(1) Bingo Game

——語彙を定着させるための活動

(2) Rhythm Training

——英語の音やリズムに慣れさせる活動

(3) English Songs

——英語の歌を聞いたり，歌う活動

(4) Visualized Textbook

——検定教科書準拠の映像教材を提示する活動

(5) Pronunciation Drills

——基礎的な「聞く力」「話す力」を養成する活動

(6) Checking

——アナライザーを用いた音声の識別テスト

4．1．2　授業の進め方

前述した授業構成の内容を詳しく考察する。

(1) Bingo Game

Bingo Gameとは，墨田区立両国中学校の長勝彦教諭が考案したものである（資料1参照）。まず，生徒は指定された40個の英単語の中から，縦横5個ずつの25マスに適当に書き入れておく。次に教師が“B：book, book. I：cup, cup. N：room, room. G：tennis, tennis. O：five, five. …”と読みあげた単語を，生徒は丸で囲んでいき，縦・横・ななめの5本の線を先にそろえた者が“Bingo！”と言って勝負を競うものである。これをペアで，1日に2回ずつ行っている。そして，2回目には「B：本．I：コップ．N：部屋…」と言って，生徒にそれぞれ該当する単語を英語で言わせている。こうすることにより，適度に緊張も高まり，生徒たちの集中も高まる。このBingo Gameは，4月の初めから最後まで根強い人気があり，授業のwarm-upとしては最適である。

なお，Bingo Gameに関しては，1990年4月に考案者である長先生を迎えて勉強会を開き，理論・実践の両面から貴重な話をうかがうことができた（プロジェクト研究・英語B）。

〈教材〉「Let's Enjoy Bingo 1」（浜島書店）

(2) Rhythm Training

英語の音声指導で特に気をつけなくてはいけないことは，英語特有の「強弱（stress）」アクセントのリズムが，母語の日本語に干渉されて「高低（pitch）」アクセントになってしまうことである。入門期の生徒を考えた場合，音声指導には充分すぎる注意が必要であろう。

今回使用した教材『口ぐせRhythm Training』（全6巻：地球人村）は，こうした心配を解消してくれる優れたビデオ教材である。

これは，アメリカ人の女性と日系の少女がリズムに合わせながら，かけあいの調子で単語，語

〔資料１〕

NO. 30 *thirty*

LET'S ENJOY "BINGO"

Date : ＿＿＿＿＿＿＿＿

B					
I					
N			FREE		
G					
O					

B: pen book notebook album bag pencil school radio
I: table desk camera coffee cup milk glass cheese
N: name morning afternoon room computer guitar cable car
G: tennis soccer baseball basketball volleyball badminton handball rugby
O: one two three four five six seven eight

carp カープ

(WIN. LOSE)

句，文を口頭練習しているビデオ教材である。映像教材ということで，イラストや実物が豊富に盛り込まれ，数々の効果音も含まれている。

教材の編集方針は，「英語を口ぐせにする反射神経トレーニング」であり，付属の解説書に「読むのではなくて，口まねをする，音をコピーする感じで」発音練習を行うようにアドバイスが書いてある。

この教材に関して，次のようなことが言える。

① リズミカルな教材であり，生徒たちも興味を持って口頭練習を行うことができる。

② モデルとなる音声に加えて，日系の少女のパートが続くので，タイミングがとりやすく，練習が簡単に行える。

③ イラスト等とつづりが画面に提示されるので，音声とつづりと実物の関係が把握しやすく，頭の中に聴覚像（acoustic image）が残りやすい。

④ リズムに合わせることで，「高低」アクセントとならず，英語らしい「強弱」アクセントが身に付く。

ここで，添付の資料により教材の全部を紹介する（資料２）。すべて映像の背景にリズム音が流れている。

〔資料２〕

(くちぐせ発音特訓ビデオ)の収録内容

TAPE 1　身近なカタカナ英語から、英語の世界に入ります。

SPORTS
volleyball basketball softball badminton ping-pong soccer tennis rugby fishing wrestling skiing boxing jogging bowling skating cycling hiking swimming running surfing diving
BASEBALL
baseball pitcher catcher batter runner homerun
FOODS
fruit orange lemon tomato cake pineapple hamburger sandwich candy coffee milk juice beef yoghurt bacon cheese ham chocolate jam butter ice cream mayonnaise potato chips doughnuts melon pizza banana toast spaghetti macaroni mushroom
KITCHEN
kitchen table cup napkin knife fork spoon carpet curtain bed telephone toilet soap shampoo shower
START THE CAR
start the car, stop the car, come here, go there, open the door, close the door, push the door, pull the door
start stop come go open close push pull

TAPE 2　ローマ字と英語のスペリングの違いに気づきます。

THE ALPHABET
A is for APPLE. B is for BAT. C is for CAR. D is for DOG. E is for EGG. F is for FISH. G is for GLASS. H is for HAT.
I is for ICE. J is for JET. K is for KEY. L is for LEMON. M is for MAP. N is for NOTEBOOK. O is for ORANGE.
P is for PIANO. Q is for QUEEN. R is for RADIO. S is for SWAN. T is for TABLE. U is for UMBRELLA. V is for VIOLIN.
W is for WINDOW. X is for BOX. Y is for YARD. Z is for ZOO.
Words ending in "ing".
jogging bowling swimming boxing surfing fishing
Words ending with the "l" sound.
football volleyball baseball softball basketball
Words ending in "er".
pitcher catcher batter
Words that end with "t".
hit hat bat mitt
SPELLING
SKI BAT HIT ICE HAM JAM BED BALL CAKE MILK DOOR
CAR
fast car, slow car, good car, bad car, small car, big car, super car, dump car, sports car, black car, blue car, green car, white car, yellow car, new car old car

TAPE 3　中学一年生の基本的な文型の導入です。

This is a flower/table/box/window. This isn't a flower/table/box/window.
Is this a flower/table/box/window?
That's a bird/dog/fish/horse. That isn't a bird/dog/fish/horse.
Is that a bird/dog/fish/horse?
BLACK OR WHITE
black or white, low or high, heavy or light, big or little, large or small, new or old, easy or difficult
Is this a pen or a pencil/a desk or a table/a horse or a cow/a lily or a tulip?

TAPE 4　疑問文、否定文の展開や、疑問詞が導入されます。

It's a pencil/table. It isn't a plane/boat.
What is this/that/it?
Who is that/that boy/that girl/that man/that woman.
He's my brother/father. She's my sister/mother.
I have a book/an apple. I don't have a book/an orange/an apple.
Do you have a book/an orange/an apple.
DRESS
dress skirt socks stocking button shirt sneaker necktie handkerchief shoes handbag

TAPE 5　対義語を使って、ボキャブラリーをふやしていきます。

I like flowers/sandwiches/horses. I don't like flowers/sandwiches/horses.
Do you like flowers/sandwiches/horses?
This is a short pencil. That's a long pencil
right left correct wrong same different front back pretty ugly quick slow rich poor quiet noisy narrow wide shallow deep dry wet young old sad happy careful careless present absent safe dangerous weak strong show hide arrive leave depart throw catch sell buy start finish forget remember fail succeed love hate with without inside outside hello good-by
It is a nice day/beautiful day/rainy day/cloudy day/cold day.
I have a pencil/two pencils/some pencils.

TAPE 6　熟語を通して、しっかりした発音と表現が身に付きます。

I have a coin in my hand/a pen in my pocket/a book in my bag.
I don't have a coin in my hand/a pen in my pocket/a book in my bag?
Do you have a coin in your hand/a pen in your pocket/a book in your bag?
What do you have in your hand/pocket/bag?
RIDE A HORSE
ride a horse/bicycle/train, take a walk, get up, wake up, grow up, watch out, look out, sit down, stand up, turn over/around, work hard
Where is your house/the station/the park/the library?
It's near the station/the park/the library/my house.
I can talk/sing/work/write/laugh/run/jump/eat/speak English.
Can you talk/sing/work/write/laugh/run/jump/eat/speak English?
Yes, I can.

※各テープとも繰返しの利用に便利な10分編集になっています。

(3) English Songs

4月当初のアルファベットの導入時に，NHK「みんなの歌」の中から，「へんなABC」という歌を聞かせた。これは従来の「ABCの歌」とは異なり，アルファベットのそれぞれの文字の形をユーモアを交えて，歌ったものである。これで授業は活気づいたのである。

歌の利用については，従来から叫ばれているが，時間数の関係や準備等の問題から，実践がむずかしいことが多い。さいわい本校では時間的な余裕もあるので，学期ごとにテーマソングを設定し，毎時間，合唱をすることに決めた。

1学期は，オリエンテーション用に5週間にわたって *The Sound of Music* を見せたので，その中から *Do－Re－Mi* を選んだ。

2学期は，USA for Africaの *We Are The World* を毎時間見せて，合唱させた。なお，これは2学期末に1年生全体で合唱させ，ビデオ収録した。

3学期は，マザーグースをはじめとして，英語の童歌（わらべうた）を中心に選曲した。

(4) Visualized Textbook

筆者は，いわゆる検定教科書の担当はしなかったが，教科書の担当者との相談のうえ，教科書準拠のLD（レーザーディスク）を予習という意味で時折見せた。これが本当の“Team Teaching”とでも言えるのではないだろうか。教科書を進める上で，生徒たちが前もって学習するところのイメージが頭の中に描かれてあれば，教室内でのoral interactionはやりやすいという感想を担当者からもらったので，結果良しとしたい。また，現行の準拠LDは，教科書の内容をかなりふくらませた編集となっており，短いskit集としても楽しめる。

(5) Pronunciation Drills

LL教室の主となる教材は島岡丘『LL教本　英語発音ベーシックコース』（大修館）を使用している（資料3）。本来高校生・大学教養課程用に編集されているものであるが，中学1年生で使える部分を使うという方針で，前年度から引き継いでいる。教材の中心は，音素の発音練習と聞き分けとからなっており，各セクションに10個ずつの小テストがついている。進め方は，原則として付属のテープ教材に委ねているが，時折，発音のコツなどを解説している。

ここで，LLシステムのモニター機能を使用すると，「知らないうちに聞かれているかと思うと気持ち悪い」という声がかなり上がったことを留意しなくてはいけない。そこで机間巡視に切り替えた。せっかくの機能も使うべきTPOを考えなくてはいけないという好例であろう。

(6) Checking

LLの授業を行ってきて，アナライザー機能は大変便利であると思う。上で述べた「音素識別テスト」は選択式問題となっているので，アナライザーを活用している。これはコンピュータと連動しており，瞬時の採点，データ分析，データの保存が可能である。

特に中学1年生には，即時のフィードバックが必要であり，各問題ごとにテレビモニターに映し出される結果を見て，学習事項の定着度を判断することができる。

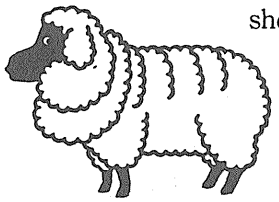
〔資料３〕

LESSON 7

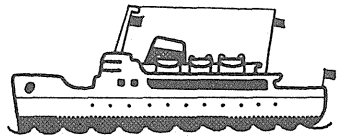
●学習内容●

「sheep/ship, pool/pull」

1 sheep [ʃi:p]



2 ship [ʃip]



[i:]

[i]

1. sheep [ʃi:p]（名）ヒツジ

2. ship [ʃip]（名）船

●*Choose sheep or ship*

解答欄	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

正答数 [　　/10]

●*Choose* [i:] *or* [i]

解答欄	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

正答数 [　　/10]

■ Exercise

それぞれの対立音を区別して発音しなさい。

1. eat / it
   [i:t]　[it]
2. bead / bid
   [bi:d]　[bid]
3. beat / bit
   [bi:t]　[bit]
4. deep / dip
   [di:p]　[dip]
5. seat / sit
   [si:t]　[sit]
6. jeep / zip
   [dʒi:p]　[zip]

4．2　中学2年（古賀）

中学2年生の1時間のＬＬ教室の構成は次のように，大きく分けて2つの部分からなっている。

前半：「Fresh LL」または続基礎英語（約30分）
後半：映画（約20分）

以下に具体的内容を述べる。

(1)「Fresh LL」または続基礎英語

- 「Fresh LL」（大修館）：前年度からの引き継ぎのいわゆるLL教材。おおよそ1時間で1課進むように構成されている。1課を2回に分け，1回目，即ち1時間目は語彙・文型の解説，内容把握を中心に，2時間目は聞き取り，文型練習を中心に行った。
- 続基礎英語：英語科では中学2，3年生にNHKラジオの続基礎英語を聴くように指導している。LL授業内で1～2週間分の学習内容の中から適宜選んで解説，及び演習を行った。

なお，3学期は，上述の「Fresh LL」が終了したので，その替わりとして，「PROTS（アメリカ発音トレーニングシステム）」（KAWAI）を用いて，英語のストレス，アクセント，イントネーションと，子音，母音を体系的に学習させた。

(2)　映画

英語を見せるねらいは，内容を楽しみながら英語の音声に接すること，映像を通して外国の習慣や文化を身近に感じとらせることである。各学期に次の映画を視聴させた。

1学期：*Never-Ending Story*（ネバーエンディングストーリー）
2学期：*E. T.*
3学期：*My Fair Lady*（マイ・フェア・レディ）

その具体的方法は，以下の通りである。

- *Never-Ending Story*：英語字幕のみ（英語が比較的平易なため）。内容理解の確認のために，次の時間に前回見たところの内容について日本語で質問し，それに日本語で答えさせる。中2のまだ1学期であったこともあり，思ったほど内容についての理解は深くなかった。また，適宜ディクテーションや，映画に出てきた身の回りの簡単な表現（振り返るを英語でturn around，げっぷを英語でbelchというなど）の確認などを行った。
- *E. T.*：話されている英語のスピードがかなり速いので，日本語字幕つきで通して見せた（内容を押えた）後で，字幕なしでのクローズ，テストによる聞き取り練習を行った。また，ちょうどハローウィーンの時期には，映画の中から仮装パーティやjack-o'-lanternなどの場面を選び出して視聴させ，解説を加えた。

★『ネバーエンディングストーリー』と*E. T.*は，本校のAVコーナーに備えられており，授業で扱った期間中，昼休みや放課後にかなり多くの生徒がそこで視聴

〔資料4〕

中2 英語LL (43期)　　October 3, 1990

1 タケシ君の普通の朝と，病気をした昨日の朝とを比べてみよう。(L.22, 24, 57, D.6, 14)
(各5点×10=50点)

USUALLY		YESTERDAY
get up	① 6:00	—
listen to "Zokukiso"	② 6:20	listen to "Zokukiso"
eat breakfast	③ 7:00	—
leave home	④ 7:30	—
get to school	⑤ 8:00	get up
	⑥ 8:30	go to the doctor

① He usually (_____ _____) at 6:00, but yesterday he did (_____ _____ _____) at 6:00.

② He usually (_____ _____ _____) at 6:20, and yesterday he (_____ _____ _____).

③ He usually (_____ _____) at 7:00, but yesterday he (_____ not _____ _____).

④ He usually (_____ _____) at 7:30.

⑤ He usually (_____ _____ _____) at 8:00, but yesterday he (_____ _____) at 8:00.

⑥ Yesterday he (_____ _____ _____ _____) at 8:30.

2年__組__番 __________

東西ドイツ統一の日！
<続基礎英語より>

命令文, or … ～しなさい，さもないと….
命令文, and … ～しなさい，そうすれば…

[練習1] 日本語に直しなさい。

(1) Look out, or you'll fall off the cliff.
(　　　　　　　　　　)

(2) Take a vacation, or you'll get sick.
(　　　　　　　　　　)

(3) Work hard, and you will succeed.
(　　　　　　　　　　)

(4) Talk of the devil, and he is sure to appear <ことわざ>
(　　　　　　　　　　)

[練習2] (　)内に and/or を入れなさい。

(1) Hurry up, (　　) you'll miss the train.

(2) Press the button, (　　) the bell will ring.

(3) Sit back and rest, (　　) you will feel much better.

(4) Hold up, (　　) you shall die.

[練習3] 英語に直しなさい。

(1) 早起きしなさい。そうすれば始発電車に間に合います。

____

(2) この傘を持っていきなさい。さもないとぬれますよ。

____

中2 E.T. 初級者編

ELLIOTT : Come on. Don't be afraid. It's all right. Come on. Come on. Come on. Come on. Come on.
E.T. : (grunts)
ELLIOTT : Come on.
E.T. : (grunts and groans)
ELLIOTT : Do you . . . _1_ ?
E.T. : (grunts)
ELLIOTT : You know, _1_ ? Me, _2_ . . . boy.
E.T. : (grunts)
ELLIOTT : Elliott.
ELLIOTT : Ell-ee-ut.
E.T. : (sniffs)
E.T. : (grunts)
ELLIOTT : Elliott.
E.T. : (grunts and groans)
ELLIOTT : Coke. See, we _3_ it. It's, uh . . . it's a _3_. You know . . . food. (sighs) These are . . . _4_. These are little men.
ELLIOTT : This is Greedo, and then this is Hammerhead. See . .
ELLIOTT : . . . this is Walrus man, and then this is Snaggletooth. And this is Lando Calrissian. See ?
ELLIOTT : And this is Boba Fett. And, look, they can even have wars. Look at this.
ELLIOTT : (makes shooting noises) (groans) And look.
ELLIOTT : Fish. The fish eat the _5_ . . . and the _6_ eats the fish.
ELLIOTT : But _7_ eats a _6_.
ELLIOTT : See, this is PEZ . . . candy. See, you eat it. You put the candy in here, and then when you lift up the head, candy _8_ and you can eat it _9_ ?
ELLIOTT : Ohh. This is . . . a peanut.
ELLIOTT : *You eat it. But you can't eat this one 'cause this is fake.* This is money. See ? We put the money in the peanut, you see ? _10_. See ? And then . . .
ELLIOTT : . . . this is a car. We . . . this is _11_ we get around in.
ELLIOTT : See ? Car.
E.T. : (grunts) (crunching noises)
ELLIOTT : Hey !
E.T. : (crunching noises)
ELLIOTT : Hey, _12_ !
ELLIOTT : Let go ! You don't eat 'em. _13_ ?
ELLIOTT : Tch. I'm hungry. Stay.
ELLIOTT : Stay.
ELLIOTT : _14_.
E.T. : (growls)
E.T. : (moans)
ELLIOTT : Okay ? I'll be . . .

1 (talk)
2 (human)
3 (drink)
4 (toys)
5 (fish food)
6 (shark)
7 (nobody)
8 (comes out)
9 (You want some)
10 (Bank)
11 (what)
12 (Wait a second)
13 (Are you hungry)
14 (I'll be right here)

していたのは大変良いことである。

• *My Fair Lady*：これも英語そのもののスピードに加えて，ロンドン訛りなど，中学2年生にはかなり困難なので，日本語字幕つきで見せ，英語そのものの聞き取りよりむしろ，イギリスの社会階層制と，それに伴う習慣や方言の違いなどに注意するよう指導した。特に，アスコット競馬場の様子や，ロンドン訛りの〔ei〕→〔ai〕の変化（The rain in Spain remains mainly in the plain の練習）や，h音の脱落（Henry Higgins がエンリー・イギンズになってしまうこと）が生徒に興味深かったようである。

4．3　中学3年（谷口）

本校の場合，中学3年ともなるとかなりの知的レベルに達していると言える。したがって，本来の中学生向きの教材ではすぐに飽きがきてしまう。そこで，高校生，または短大・大学生を対象とした教材を使用することが少なくない。しかし，当然，教材の提示法に工夫が求められることになる。

4．3．1　授業の構成

平成2年度では，大学教養課程向きに編集された教材をメインにすえ，さらに高校生向けの速読教材とリスニング養成教材でサポートするように，おおよそ次の3本柱で授業を構成した。

(1)　リスニング力養成

教材：*Whaddaya Say ?*（ランゲージ・サービス）

(2)　速読力養成

教材：*Super Reading* 1（桐原書店）

(3)　メイン教材（コースブック）

教材：*Listen For It*（Oxford University Press）

4．3．2　授業の進め方

前述の授業構成の内容を簡潔に考察してみたい。

(1)　リスニング力養成

授業のはじめに warm-up が大切なのは自明のことであろう。特に，英語の学習をこれから始めるという雰囲気づくりと日本語思考からの切り換えとして warm-up は不可欠と思える。

中学1年生に対しては，Bingo Game を行った。中学3年生には学年担当の責任者（久保野）の意向を受けて，英語の音声の reduction に慣れるために，ディクテーションを中心に受動的な活動を行った。具体的には，アメリカ英語のナチュラルスピードに慣れさせるためにアメリカで開発された教材*Whaddaya Say ?*（アメリカ ELS 制作／ランゲージ・サービス）を使用した。

(2) 速読力養成

LL教室では，音声中心になりがちであるが，LL教室内にある機能を活用することで他の技能を養成することも可能である。特にアナライザーは，瞬時の分析が可能であり，成績を記録として保存できるので，使用する場面の可能性は高くなるのではと思う。

本稿ではあまり深く入らないが，高校1年生向きに作られた*Super Reading*（桐原書店）はすべてが客観式解答となっており，アナライザーを使用して，解答を集約することで，学習効果をあげることが可能である。

(3) メイン教材

Listen For It（OUP）はもともと大学生の教養課程で用いるために編集された教材であり，中学生への使用は難しいと思われた。しかしこの教材の全部を使うわけでなく，Listeningの部分にしぼって，しかもヒントを与えながら授業を進めることによってうまくいくのではないかと考え，実践を行った。

各ユニットは，次のような構成になっている。

① Starting out : introduces a topic and provides some of the background information and language that is needed in order to understand coversations on that topic
② Listening for it : contains several tack-based listening activities related to the topic
③ Listening tactics : focuses on how conversational language expresses meaning
④ Trying it out : contains follow-up speaking activities

（p. iii）

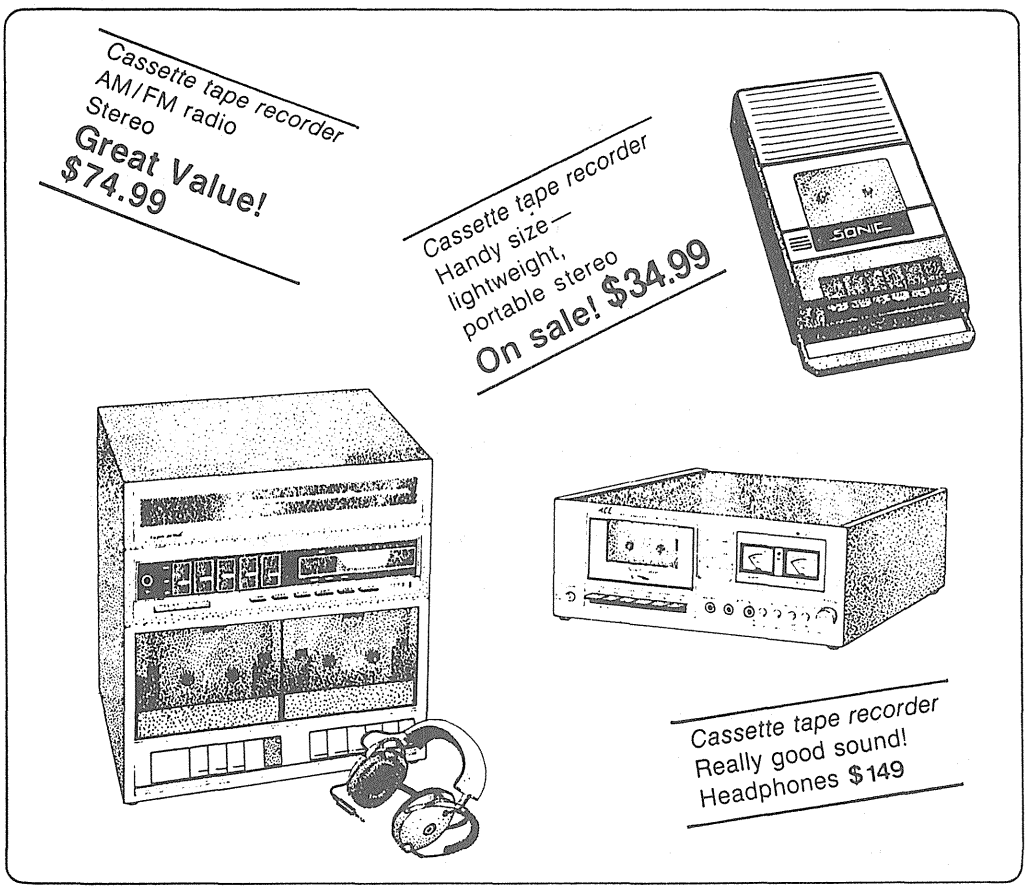
このうち，特に①と②を集中して行い，補足的に③を扱い，④はまったく扱わなかった。いわば，教材のトロの部分しか取り出さなかったのである。

具体的にUnit 10を例にして論をすすめる。

まず，Starting outではmatchingを行う。この教材の良い点は，実物主義であり，イラストを多用していることである。このことで，生徒たちはイメージを掴みやすくなり，現実の場面と結びつけて考えることができるのである。

〔教材の具体例〕

2a. Match each tape recorder with an advertisement



2b. Now compare the tape recorders. How many differences can you find? Use phrases like these.

The ____ has a radio, but the ____ doesn't.
The ____ is cheap, but the ____ is expensive.

［教材の具体例］

What do you / What are you ⟶ ***Whaddaya**

WEEKEND PLANS

DAVID: "_____(1) _____(2) _____(3) doing this Saturday?"

TOM: "Nothing special. _____(4) _____(5) _____(6) have in mind?"

DAVID: "A big picnic. _____(7) _____(8) _____(9) think?"

TOM: "It sounds like fun! Who do _____(10) think we should go with?"

DAVID: "Well, how about Debra, Mark, Jan, and Jan's sister?"

TOM: "Fine. _____(11) _____(12) we need to bring?"

DAVID: "Lots of everything! _____(13) _____(14) _____(15) want?"

TOM: "Hmm. _____(16) _____(17) they like to eat?"

DAVID: "Oh, all the usual things. Chicken, potato salad, fruit, cookies . . . _____(18) know, talking about food is making me hungry."

TOM: "Me, too! _____(19) _____(20) _____(21) say to going for a hamburger?"

DAVID: "_____(22) _____(23) *you* think? Let's go!"

［解答］

1. you	2. looking	3. you	4. want	5. to	6. looking
7. you	8. going	9. to	10. have	11. to	12. having
13. bending	14. don't	15. you	16. looking	17. you	18. you
19. taking	20. buying	21. you	22. You're	23. standing	

この教材はそのタイトルが示すように，会話で What do you say？を実際の発音では Whaddaya Say？と聞こえることを意識して編集されている。その編集目的として，次のような記述がある。

> Generally speaking, ESL students learn to understand their teachers (and the tapes they hear in language lab) without too much difficulty. When they are listening to American friends, clerks and shopkeepers, or "the man on the street," however, this situation often changes dramatically. To a large degree this may be explained by the fact that "classroom English" and "the English of the real world" sound different. The careful, clearly articulated (and often slower) language typically heard in class and the "relaxed speech" so commonly heard outside it do not quite match. When students encounter this phenomenon, therefore, a communications breakdown usually occurs: what they expect to hear and what they actually hear are not the same thing. The result is at best frustration and at worst utter mystification.
>
> If relaxed speech were no more than slang or "sloppy diction" (and thus only characteristic of substandard language usage), there would be little cause for concern. The fact is, however, that it is heard when Americans of almost all backgrounds and educational levels speak quickly or in an informal, casual manner. Students will, therefore, encounter relaxed speech often, and should be prepared to deal with it. *Whaddaya Say?* has been written for just that purpose.
>
> *Whaddaya Say?* is not intended to teach relaxed speech in and of itself. It is *not* intended to be a pronunciation text. Instead, its goal is to help students understand the relationships between carefully articulated English and its more informal, relaxed counterpart. When these relationships become clear and students learn to recognize them in spoken English, they will have acquired a valuable key to understanding. Consequently, their listening comprehension skills will improve markedly.

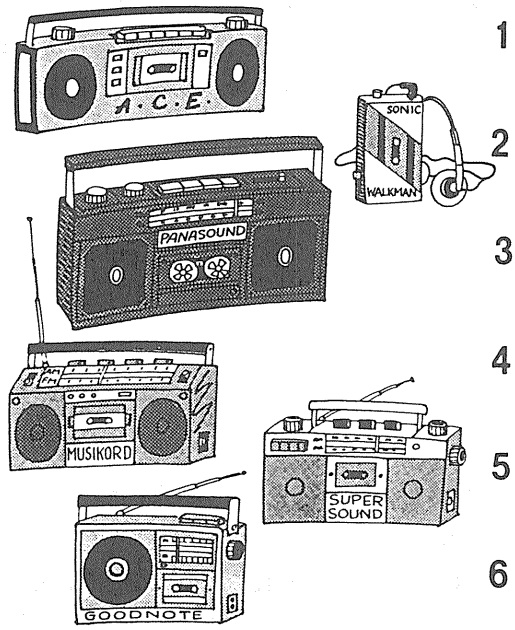
(p.viii)

このテープ教材をディクテーションさせることで，warm-up に変えた。まず，彼らにこの教材を自分のテープに録音させ，それを自分で好きなだけ繰り返し，空所に書き込むという LL 教室の典型的な活動を行った。生徒たちのレベルは，ふつう 3～4 回ぐらいで，9 割以上の空所が埋まるほどであった。あらためて彼らのレベルがかなり優秀であることを実感した。

次に，Listening for it に移るが，この際，listening point をしぼることが重要な communication strategy となるのである。このセクションはそれを意識して構成されており，解答の仕方もできるだけ簡潔にして，リスニングに集中できるよう工夫されている。さらに，答えのキーとなる部分を消したトランスクリプトを事前に配布しておいて，テープを聞かせることで徐々に慣れさせておくことも大切であると感じた。

〔教材例〕

2a. A salesman is helping Terry to buy a tape recorder. He does not like some of the tape recorders he looks at. What is wrong with them? What does Terry say about each tape recorder? Draw a line from each tape recorder to what he says about it.



1 "stereo, radio, too expensive"

2 "radio, stereo, very heavy"

3 "small, good sound, needs headphones"

4 "good sound, no stereo"

5 "good size, stereo, no radio"

6 "stereo, radio, all right"

(p.48)

〔トランスクリプト：下線部分を消して配布する〕

Salesman : Can I help you ?

Terry : Yes, I'm looking for a cassette tape recoder. Do you have anything on sale ?

S : Mmm ... well, let me see. How about this Musikord ? It's stereo and has AM/FM radio. It' on sale for only $89.99.

T : $89.99. No, that's a little too expensive. I didn't really want to spend more than $75. I can get something for $75, can't I ?

S : $75. Hmmmm, yes, I think so. Well, we have this Panasound. We have a special on it this week. It's a very good tape recorder and it has radio, too. And it's also stereo.

T : Well, it looks very heavy. I want something smaller than that.

S： Mmm. Too big, huh？ Are you interested in a really small one？ Take a look at this little Sonic Walkman. The sound is really good. You put on these headphones, and you can take it anywhere.（以下，省略）

この教材には効果音が自然な形で入っており，臨場感あふれる雰囲気で学習させることが最大のメリットである。しかも，多くの声優を登場させ，さまざまな人々の発音に触れることができるのである。したがって，飽きのこない内容となっている。1年間の実践を終えて感じたことは，こうした主旨で編纂された教材（anthentic material）を中学の早い時期から与えておきたいということである。

4．4　高校2年生（古賀）

高校2年生の1時間の授業の構成は次のようにした。

前半：基礎訓練（約30分）

後半：映画（約20分）

以下に具体的内容を述べる。

(1)　基礎訓練

・英語ヒアリング特訓：別冊 *The English Journal*「英語ヒアリング特訓本」（アルク）を参考に，英語のリズム，音の弱化・脱落・合体，リエゾン，区別しにくい音素，アクセントの変化・イントネーションの違いによる文意の変化などを解説した後，毎時間練習問題を実施した。直後に答え合わせをして，間違いの多かった箇所を再度聞かせて確認させる。（1，2学期）

・*Strategies in Listening*（LINGUAL HOUSE）：いわゆるリスニング教材である。3学期のみの使用だったので，この中から，道順を表す様々な表現，図形を表す表現を扱った課を取り上げて，問題演習を行った。

(2)　映画

映画を見せるねらいは，中学2年生と同様に，内容を楽しみながら英語の音声に接すること，さらに上級学年なので実際の英語表現をできるだけ多くピックアップすること，映像を通して外国の習慣や文化を身近に感じとらせることである。各学期に次の映画を視聴させた。

1学期：*The Sound of Music*（サウンド・オブ・ミュージック）

2学期：*Can't Buy Me Love*（キャント・バイ・ミー・ラブ）

Good-by, Mr. Chips（チップス先生さようなら）

3学期：*The Great Dictator*（独裁者）

以下はその具体的方法である。

・*The Sound of Music*：英語Ⅱの教科書（*UNICORN ENGLISH COURSE* Ⅱ；文英堂）で，ト

ラップ一家を扱った課（第7課；“Bless My Homeland Forever！”）があったので，先取りして映画を見せた。日本語字幕で視聴させた後，ディクテーションを行った。英語そのものはかなりスピードが速いので生徒は苦労していた。また，日本語字幕を見ながら視聴しているとき，マリアが初めてトラップ一家に来て，子ども達の自己紹介を受ける場面で，長男のフリードリッヒが，自分を「問題児です。」と言うのだが，そこの英語が“I'm impossible.”となっているのをキャッチできた生徒が多く，「なるほどね。」という声が多かったのは頼もしい。

- *Can't Buy Me Love*：アメリカの高校生を扱ったいわゆる学園モノ，青春モノのアメリカ映画。日本語字幕つきで見せた後，ディクテーションを行った。文化的な事として，フットボール選手とチアリーダーの校内での人気や，学校で行われる様々なパーティなどの背景知識を取り上げ解説を加えた。期末テストの際に映画の感想を書かせた。
- *Good-by, Mr. Chips*：英語キャプションで視聴させた。これはイギリス映画なので，アメリカ英語とイギリス英語の発音や語彙の相違に注目させた。（校舎の階段の上にMind Your Headとあるので，アメリカ英語ではWatchを使う等。）また当時のイギリスのグラマー・スクールの様子やイギリス人の紅茶へのこだわりなどの解説を適宜加えた。時間の都合で飛ばしながら見たが全部見終わったところでディクテーションを実施した。
- *The Great Dictator*：日本語字幕で視聴させ，聞き取り練習を行うと共に，チャップリンの映画と生涯にも触れた。また，最後の有名な6分間スピーチの原稿を配布し，その中から自由に，続く2段落を選ばせその部分の朗読を各自テープに録音させて提出させた。ちょうど湾岸戦争が起きていたので，フセインとヒットラーについて討論させたりもした。

4．5　高校3年（加藤）

1990年度に高校3年生を担当しており，高校3年生にはLL授業が割り当てられていなかったが，当時の高校3年生の生徒の強い希望で2学期に8時間ほどLLの授業を行った。このため，本来は実践報告をする予定になっていなかったが，簡単にこの間の授業の実践報告を行うことになった。

高校3年生は，受験を目前に控えており，入試時に行われるリスニング・テストに不安を感じていたためLLの授業を特別に希望したと思われる。この学年は中学の時にはまだLL教室ができていなかったので，リスニング能力に差があったため，生徒の希望を生かし，かつ本校LL教室の設備の特性を活かして次のような授業を実験的に行ってみた。

本校のLL教室では異なった教材を同時に送出する機能を持っているため，授業の前半は全員一斉に同じ教材（『ヒヤリング問題集（実践編）』緑川日出子・James Bowers編著，研究社出版）を用い，後半は2種類の教材を同時に送り出し，生徒に自主的に選択させることにした。

後半に用いたのは，映画*Back to the Future 2*と『英会話リダクションの演習』（大井上　滋・

４０期　英語ＬＬ　第１学期期末考査　　問題用紙

July 7, 1990

Ⅰ．強勢はどこにくるか、その単語の記号を解答欄に書きなさい。
a. I wouldn't have let her do it.
　ア　イ　　ウ　エ　オ　カ　キ
b. See if you can find it in the cupboard.
　ア　イ　ウ　エ　オ　カ　キ　ク　ケ
c. It's just as good as being in the hall.
　ア　イ　ウ　エ　オ　カ　キ　ク　ケ
d. When he asked if they wanted any, nobody answered.
　ア　イ　ウ　エ　オ　カ　キ　ク　ケ

Ⅱ．（　）に適する１語を解答欄に書きなさい。（短縮形も１語とみなします。）
1.（ 1 ）（ 2 ）leaving tomorrow.
2. Rarely（ 1 ）（ 2 ）meet without quarrelling.
3. I told her（ 1 ）I（ 2 ）see（ 3 ）（ 4 ）next day.

Ⅲ．（　）に適する単語を入れなさい。
1 First come, first（　　）.
2. He got（　　）last year.
3. The strom（　　）down.

Ⅳ．（　）に適する単語を入れなさい。
1. He lives on the（　　）Street.
2. I went（　　）the big restaurant.
3. The teacher erased the（　　）on the blackboard.

Ⅴ．次のテープの会話は、おやつの食卓での話です。（　　）に適切な語句（１語とは限らない）を入れなさい。テープは３回繰り返されます。
A: This is a nice chocolate（ 1 ）made.
B:（ 2 ）have some more?
A: Yes, please. Did Alice tell you how to make it?
B: Yes, she's a good（ 3 ）know. Do choose the（ 4 ）want.
　Why（ 5 ）take another cup of tea?
A: Thank you.（ 6 ）sugar, please.
B: Here it is. Help yourself.

Ⅵ．次のテープはサウンド　オブ　ミュージックの１部です。空所を埋めなさい。テープは初めに通しで、次に空所を３回繰り返しながら、最後にもう一度通しで流れます。

Captain: ①＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿.Fraulein.
　I… ②＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿.I apologize.
Maria: I'm far too outspoke.　And it's one of my worst faults.
Captain: ③＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿.I don't know my children.
Maria: There's still time, Captain.　They want so much to ④＿＿＿＿＿＿＿＿.
Captain: You brought music ⑤＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿, I'd forgotten.
　Fraulein, I want you to stay.　I ask you to stay.
Maria: ⑥＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿.
Captian: You have already ⑦＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿.

Ⅶ．次のテープはサウンド　オブ　ミュージックの１部です。
　（１）空所を埋めなさい。テープは通しで２回繰り返されます。
Maria:Well I'm sure the Baroness will be able to make things fine for you.
Captain: Maria.　There isn't going to be any Baroness.
Maria: There isn't?
Captain: No.
Maria: ①＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿.
Captain: Well we've called off for the engagement, you see, and,…
Maria: Oh I'm sorry.
Captian: I see…yes… ②＿＿＿＿＿＿＿＿?
Maria: Hmm… ③＿＿＿＿＿＿＿＿?
Captain:Yes. Well, you can't marry someone when you love in someone else.
　（２）下線部②、③は大佐、マリアそれぞれのどういう気持ちを表すか具体的に説明しなさい。（日本語で）

Ⅷ．次の中からテーマを一つ選んで、それについて論じなさい。（日本語で）
　英語のリズムと日本語のリズムの違いについて。
　どういう言葉（品詞）が弱く発音されるか、またそれはなぜか。
　なぜあるはずの音がなくなったり、聞こえなくなったりするのか。

13 DIRECTIONS

PREVIEW

Do you know these expressions?

LANGUAGE FOR GIVING DIRECTIONS

It's at the end of the hall.
It's in the other wing (building).

Follow this road. — Go straight down this road.
Make a left on... — Take a left on...
Turn left on... — When you come to... turn left.

It's on the right. — It's on the left.
It's about four blocks (street intersections).
It's in the middle of the block.

FUNCTIONAL LANGUAGE

Excuse me. — Can you tell me where it is? — Can you tell me how to get to...?
Do I have to...? — Do I go right or left?
OK! — Great. — Thanks a lot.

PART A Circle the expression that you hear.

1.
a. Go straight.
b. Go to the right.

2.
a. Turn right.
b. Keep to the right.

3.
a. Go straight for about 200 meters.
b. Go straight for about 200 feet.

4.
a. It'll be right in front of you.
b. It'll be on the right side.

5.
a. It's a bit far from here.
b. It's not too far from here.

6.
a. It's on this side of the street.
b. It's on the other side of the street.

7.
a. It's about a five minute walk.
b. It'll take about five minutes to drive there.

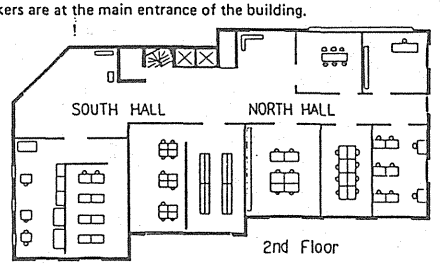
8.
a. It's down the stairs.
b. It's up the stairs.

9.
a. It's in the next building.
b. It's next to the building.

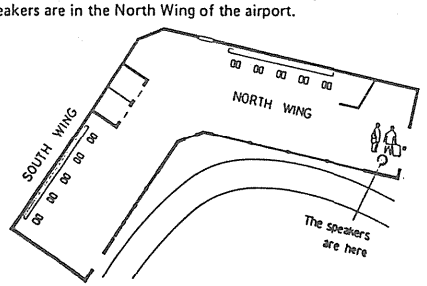
10.
a. It's on the third floor.
b. It's on this floor.

PART B Listen to each conversation.
Make an "X" on the location of the place they are talking about.

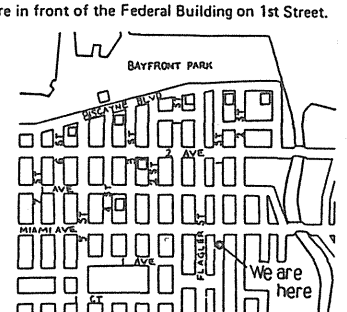
1. The speakers are at the main entrance of the building.



2. The speakers are in the North Wing of the airport.



3. The speakers are in front of the Federal Building on 1st Street.



Miami, Florida

The Concluding Speech of THE DICTATOR

I'm sorry, but I don't want to be an emperor. That's not my business. I don't want to rule or conquer anyone. I should like to help everyone—if possible—Jew, Gentile, black men, white.

We all want to help one another. Human beings are like that. We want to live by each other's happiness—not by each other's misery. We don't want to hate or despise one another. In this world there is room for everyone. And the good earth is rich and can provide for everyone.

The way of life can be free and beautiful, but we have lost the way. Greed has poisoned men's souls—has barricaded the world with hate—has goose-stepped us into misery and bloodshed. We have developed speed, but we have shut ourselves in. Machinery that gives abundance has left us in want. Our knowledge has made us cynical; our cleverness, hard and unkind. We think too much and feel too little. More than machinery we need humanity. More than cleverness, we need kindness and gentleness. Without these qualities, life will be violent and all will be lost.

© 1964 by The Bodley Head Ltd., London Reprinted by Permission of The Bodley Head Ltd. through Tuttle-Mori Agency, Inc., Tokyo

The aeroplane and the radio have brought us closer together. The very nature of these things cries out for the goodness in man—cries out for universal brotherhood—for the unity of us all. Even now my voice is reaching millions throughout the world—millions of despairing men, women, and little children—victims of a system that makes men torture and imprison innocent people. To those who can hear me, I say: 'Do not despair.' The misery that has come upon us is but the passing of greed—the bitterness of men who fear the way of human progress. The hate of men will pass, and dictators die, and the power they took from the people will return to the people. And so long as men die, liberty will never perish.

Soldiers! Don't give yourselves to these brutes—who despise you—enslave you—who regiment your lives—tell you what to do—what to think and what to feel! Who drill you—diet you—treat you like cattle and use you as cannon fodder. Don't give yourselves to these unnatural men—machine men with machine minds and machine hearts! You are not machines! You are men! With the love of humanity in your hearts! Don't hate! Only the unloved hate—the unloved and the unnatural!

Soldiers! Don't fight for slavery! Fight for liberty! In the seventeenth chapter of St Luke, it is written

that the kingdom of God is within man—not one man nor a group of men, but in all men! In you! You, the people, have the power—the power to create machines, the power to create happiness! You, the people, have the power to make this life free and beautiful—to make this life a wonderful adventure. Then—in the name of democracy—let us use that power—let us all unite. Let us fight for a new world—a decent world that will give men a chance to work—that will give youth a future and old age a security.

By the promise of these things, brutes have risen to power. But they lie! They do not fulfil that promise. They never will! Dictators free themselves but they enslave the people. Now let us fight to free the world—to do away with national barriers—to do away with greed, with hate and intolerance. Let us fight for a world of reason—a world where science and progress will lead to the happiness of us all. Soldiers, in the name of democracy, let us unite!

Hannah, can you hear me? Wherever you are, look up! Look up, Hannah! The clouds are lifting! The sun is breaking through! We are coming out of the darkness into the light! We are coming into a new world—a kindlier world, where men will rise above their greed, their hate and their brutality. Look up, Hannah! The soul of man has been given wings and at last he is

beginning to fly. He is flying into the rainbow—into the light of hope . . . into the future — the glorious future that belongs to you . . . to me — and to all of us! Look up, Hannah! Look up!

NOTES

The Concluding Speech of THE DICTATOR

Page Line

57 1 **That's not my business.** 「それは私にはかかわりのないことだ」 *cf.* That's none of your business. 「それは君の知ったことではない（君はだまっていろ）」

4 **Gentile** [dʒéntail] 「異邦人（ユダヤ人から見て）」

13 **goose-stepped** 「がちょうの足取りよろしく歩いて」ナチス・ドイツの兵士の独特の歩き方—ひざを曲げず足をまっすぐに伸ばして行進する—を goose step という。

58 10 **the passing of greed** 「貪欲の姿をかえたもの」

13 **so long as men die** 「人間に死のある限り」どんなに強大な独裁者といえども死は必ずくる。

19 **cannon fodder** 「大砲の餌食（えじき）」

23 **the unloved** 「愛されたことのない人々」 *cf.* the rich＝rich people

26 **St Luke** [seint lu:k] 「ルカ伝」新約聖書の中の一書。ルカはキリストの弟子の一人。

59 11 **have risen to power** 「権力者の座についた」

15 **do away with** 「廃止する」
national barriers [bǽriəz] 「国の境界線」

20 **Wherever you are,** 「あなたがどこにいるにしても」〈譲歩の副詞節〉

〔資料〕 *Back to the Future 2*

[honk honk]

MARTY : What was that ?

DOC : Taxicab.

MARTY : What do you mean,taxicab ? I thought we were ( ).

DOC : ( ).

MARTY : All right, Doc. What's going on, huh ? ( ) are we ? ( ) are we ?

DOC : We're ( ) toward Hill Valley, California, at 4:29 P.M. On Wednesday, October 21, 2015.

MARTY : 2015? You mean we're in the future.

JENNIFER : The future. Maety, what do you mean ? How can we be in the future ?

MARTY : Ah, Jennifer, um... I don't know how to tell you this, but...
You're in a ( )
( ).

JENNIFER : And this is the year 2015 ?

DOC : October 21, 2015.

JENNIFER : God, so, like, you were't ( ). Marty, we can actually see our future. Doc, you said we were ( ), right ?

DOC : Yea--uh...

JENNIFER : Yeah ? Was it a big ( ) ?

DOC : Well...

JENNIFER : We're gonna be able to see our wedding !

MARTY : Wow.

JENNIFER : I'm gonna be able see my ( ) ( ).

MARTY : Wow.

JENNIFER : I wonder where we live. I bet it's a big house with a lots of kids. And... How many kids-- ?

MARTY : Doc! What the hell are you doing ?

DOC : Relax, Marty. It's just a sleep-inducing alpha rhythm ( ). She was asking too many questions, and no one should know too much about their future. This way, when she wakes op, she'll think it was a dream.

MARTY : Then what did you ( ) her for ?

DOC : She saw the time machine. I couldn't ( ) her with that information. Don't worry. I couldn't ( ) her with to my plan.

MARTY : Well, you're the doc, doc.

DOC : Here's our ( ).

Susie F. Cowan 著，語研）である。

リスニングの基本から学び直したいものは後者を，その必要のないものは前者を選択させた。実際に後者を選択した生徒は41人のクラスで5人程度だった。

Back to the Future 2 は英語キャプション組み込みのもので，あらかじめビデオ・キャプション・アダプターを通してコンピュータにテキストファイルとしてフロッピーディスクに落としておき，別紙参考資料のようなクローズテストをワード・プロセサーで作成しておく。授業では，まず，キャプションを出さないで，印刷された部分の映画を生徒に数回見せて，空所に聞き取った語を書かせる。つぎに，キャプションを出して生徒に確認させる。最後に教材提示装置を用いて答えを確認し，説明をつけ加える。このような手順で行った。

もう一つの教材については，生徒に教材を流して，それに自分の声を録音させ確認させるというやり方であり，ほとんど自学自習型である。

後半の授業については，生徒の選択に任せたので積極的に取り組んだ。特に映画については，かつてないほど熱心に聞き取る努力をしていた。映画の英語のレベルはほとんどの生徒のレベルを越えていたが，語彙を増やすという点では非常に効果があったようである。

本校のLL教室の機能を活かして行った授業であったが，本校にはLL助手がいないため，全て操作を一人の教員が行うことになり，映画の方の機械の操作に追われて，もう一方の教材をモニターとして指導することができなかったのが悔やまれる。この種の授業を行うには複数の教員か，少なくても教員の他に助手が必要であることが分かった。また，複数の教材を用意しなくてはならないため負担が増え，恒常的に行うことはとてもできないことも分かった。将来，教育環境が改善されれば，LL教室の機能をより積極的に活かした授業を行うことができるであろう。

5．考察――字幕スーパーについて

映画の字幕には日本語スーパーと英語のキャプションがあるが，英語のキャプションは必ずしもセリフと同じようには出て来ないという不便さがある。更に，かなり上級学年にならないと，英語を音声で聞きながら同時にキャプションを目で追うというのは困難であり，さらにたとえ上級学年であってもそれを実行できるのは，ごく一部の実力の高い生徒に限られるようである。従って，映画を見せるのであれば，特に今回のように内容も重視するような場合は，初めに日本語字幕つきで見せるのが良いと思う。

ただそうなると，特に低学年の生徒の場合は，音声に注意するように言ってもつい映像ばかり，又は日本語字幕のみに集中してしまうという欠点が残る。しかしこれはある意味で仕方のないことだと思う。映画の1部だけを切り取って，リスニング教材として使うとなると，映画のセリフというのは語彙といい，スピードといい適切と言えるものは，たとえ映像の助けがあるにせよ，大変に少なくなってしまう。また映画というのは全体を通して1つのテーマがあるものであるか

ら，細切れにしてしまっては映画を使う意味が半減してしまう。ただし，授業の大半をただ映画を見て過ごす，ということに対する抵抗があるのも事実である。今後は，その点を工夫して更に実践を重ねて行きたい。

6．今後の課題

LLの授業が，コミュニケーション能力，特に音声面の訓練に威力を発揮することは間違いないと思う。しかも，英語学習の初期においては，耳の訓練はもちろん，英語の学習の動機づけとしてでも有効である。しかし，実践を重ねれば重ねるほど，冒頭で述べた問題がクローズアップされる。

今後の課題として，中学1年から高校3年まで体系だった教育を実現するために，LL教室で使用可能な，そして効果が望める教材のデータベースの整備が急務であると痛感する。市販の音声・映像教材はもちろん，テレビ・衛星放送等で収録した教材が，我々の身の回りに「どれだけ存在し，どの程度のレベルで，どんな長所・短所があるのか」などの情報が欲しいと感じるのは我々だけではないと思う。

次の章では，この課題に応えようとしている我々の取り組みの中間まとめを報告する。

7．中学・高等学校における視聴覚（ＡＶ）教材のデータベースの試み

7．1　データベース化の必要性

英語の教師であれば誰でも，授業で威力を発揮する独特のアイディアや教材が一つや二つはあるはずである。それは，ゲーム，歌，映画など様々な形が考えられる。しかし，残念なことに，素晴らしいアイディア・情報も「個人の宝物」として蔵の中にしまいこまれていることが多い。

一人の教師の頭に浮かぶアイディアには，質・量ともに限界がある。また，良いアイディアとの出会いは多くの場合，「出会い頭のホームラン」的な偶然による。たまたま見た映画・テレビ，聞いた音楽，読んだ新聞・雑誌等の中から，思いがけず良い材料が見つかるものである。見つけようと努力した結果，必然的に良いアイディアに出会うわけではない。このような「出会い頭」的な宝物を何とか暗い蔵の中から陽のあたる人の目にふれやすい場所に引張り出すことはできないであろうか。

データベース化の目的は，個人の宝物を英語教育界全体の共有財産にすることである。そのためには，宝物（アイディア）の収集・保存・再利用のシステムを構築しなければならない。本章では，視聴覚教材（以下ＡＶ教材）の場合に限って，そのシステム作りの試案を述べてみたい。

7．2　ＡＶ教材のデータベース化

ＡＶメディアの発達とともに，あらゆる情報を安価で入手することが可能となって来た。衛星放送（ＢＳ），２ヵ国語放送のニュース等，エアチェックし始めたらきりがない。しかし磐崎（1990）の指摘しているように一度利用した材料も，よほど上手に整理しておかないと，もう一度使おうと思ってもなかなかさがし出さないものである。限られた時間の中で，明日の準備をしなければいけない日常の中では，検索に手間取れば，結局その材料を利用することは断念せざるを得なくなる。これでは，せっかく収集した材料も，その価値はゼロである。

それでは，どのような形で材料を整理して行けば良いのだろうか。先行研究としては，松浦（1991）がある（資料参照）。しかし，これだけでは充分とは言えない。必要な材料をさがそうとする時に必要となる労力は，ファイルされたカタログをめくっていくのとそれほど大差があるとは言えない。

そこで，現実の教材研究のプロセスを念頭において，どのような項目を盛りこめば使いやすいかを考え，改良を加えてみた，その結果試作したのが，筑波版「ＡＶデータカード」である（資料参照）。カードに記載するデータは大きく二つに分かれている。上半分がその材料の形式に関するもので，下半分が内容に関するものである。松浦（1991）との違い一見してわかるものは内容面の記載の精密化である。

次節では具体例をもとに，このように大きなデータカードが必要となる理由をまとめてみる。

（資料）「高校用市販視聴覚教材リスト」より抜粋

番号	科目領域	作品名	方式	時間	年	価格	対象	メーカー	内容
59	Read	English in Focus (x10)	VC			925,750		ｼﾞｪﾑｺ	英国ﾛｹ 学校教育用 55のｴﾋﾟｿｰﾄﾞ 基本ﾓﾃﾞﾙ演習、対話演習
60	会話	English in Sight	VC			26,111		Regent	Student's Book ¥803 Teacher's Book ¥2,101
61	Read	The English Teaching Theatre	VC			36,688		ｼﾞｪﾑｺ	俳優、ﾐｭｰｼﾞｼｬﾝ、教師からなるｸﾞﾙｰﾌﾟでｼｮｰを演じる
62	事情	English Through Cultures (x5)	VC			930,900		ｼﾞｪﾑｺ	米国、ｶﾅﾀﾞ、ｵｰｽﾄﾗﾘｱで生活し、伝統を守るために努力する若者たち
63	事情	English Through Real Experiences I (x2)	VC			51,500		ｼﾞｪﾑｺ	老人問題、身体障害者問題、親子問題のﾄﾞｷｭﾒﾝﾀﾘｰを素材に
64	事情	English Through Real Experiences II (x2)	VC			51,500		ｼﾞｪﾑｺ	老人問題、身体障害者問題、親子問題のﾄﾞｷｭﾒﾝﾀﾘｰを素材に
65	会話	Family Affair (x2)	VC			31,800		ﾛﾝｸﾞﾏﾝ	Study Guide ¥1,442 TM ¥1,524
66	事情	A Farm in the City	VC			30,900		伸興通	ﾛﾝﾄﾞﾝに住む少年少女が郊外のﾕﾆｰｸな農場等日常生活について話す
67	会話	Follow Me (x60)	VC			912,772		ﾒﾅｰﾄﾞ	初心者でも標準的な英語能力が養える2年間ｺｰｽ BBC制作
68	会話	Framework (x3)	VC			108,150		ﾛﾝｸﾞﾏﾝ	Text ¥1,442
69	会話	Hallo!	VC			19,570		伸興通	あいさつ、自己紹介の仕方を英国の小学校での日常場面で描写
70	会話	Heart of English (x3)	VC			92,700		伸興通	旅行・観光・ﾋﾞｼﾞﾈｽｺｰｽ ﾊﾞｰﾐﾝｶﾞﾑの工場・ﾎﾃﾙ・商工会議所等の場面
71	会話	In America (x20)	VC			408,000		日本ﾚﾝ	米国のﾃﾚﾋﾞ番組を教材化
72	会話	Interactive Video Program (x8)	VC			218,360		ｼﾞｪﾑｺ	ﾋﾞﾃﾞｵとの対話形式
73	会話	The Interview Game (x5)	VC			154,500		日本ﾚﾝ	ｶﾒﾗの前や面接の場で意見や感情を伝えるｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽｷﾙ
74	会話	Its Your Turn to Speak I (x3)	VC			100,000		ｼﾞｪﾑｺ	会話の基礎から応用までﾋﾞﾃﾞｵと対話する手法も取り入れた作品
75	会話	Its Your Turn to Speak II (x3)	VC			100,000		ｼﾞｪﾑｺ	会話の基礎から応用までﾋﾞﾃﾞｵと対話する手法も取り入れた作品
76	会話	Listening & Speaking (x6)	VC			941,200		ｼﾞｪﾑｺ	発音の上達法、ﾌｫｰﾏﾙな表現とｲﾝﾌｫｰﾏﾙな表現、言葉の選び方等
77	会話	Living in New York	VC			51,294		ﾛﾝｸﾞﾏﾝ	ﾆｭｰﾖｰｸの街を案内する11課 対話形式の練習問題
78	Read	New Horizon (x23)	VC			918,000		東書	中学校の教科書 ﾛｹｰｼｮﾝによる場面設定で自然な状況の中で
79	Read	New Horizon (x23)	VC			958,000		東書	中学校の教科書 ﾛｹｰｼｮﾝによる場面設定で自然な状況の中で
80	Read	Reading Self-Improvement (x6)	VC			941,200		ｼﾞｪﾑｺ	英語の読解力を身につける方法を系統立てて紹介
81	事情	Roads:Britain Now Series	VC			72,100		伸興通	LondonからClyde Estuaryまで、英国の有名な地域を紹介
82	会話	Social Encounter (x5)	VC			930,900		ｼﾞｪﾑｺ	米国生活の中で、病気、事故の場合の対処や法律相談 ﾄﾞﾗﾏと解説
83	事情	Sports:Britain Now Series	VC			86,950		伸興通	ﾌｯﾄﾎﾞｰﾙ、ﾗｸﾞﾋﾞｰ、ﾎﾞｰﾄ、ｸﾘｹｯﾄなど 中級程度
84	Read	Total English 1年 (x3)	VC			930,900		ｼﾞｪﾑｺ	秀文出版「TOTAL English-New Edition」に準拠
85	Read	Total English 2年 (x3)	VC			930,900		ｼﾞｪﾑｺ	秀文出版「TOTAL English-New Edition」に準拠
86	Read	Total English 3年 (x2)	VC			930,900		ｼﾞｪﾑｺ	秀文出版「TOTAL English-New Edition」に準拠
87	Read	Two to Hampstead	VC			30,900		伸興通	Hampsteadを舞台に、男女二人の高校生の会話
88	会話	Video English (x8)	VC			384,000		ｼﾞｪ・伸	英語を外国語として学ぶ諸国でのﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸを基礎に開発
89	文法	Video English Grammar 1 (x6)	VC			915,450		ｼﾞｪﾑｺ	時制と進行形 中学校と高等学校の新指導要領に準拠
90	文法	Video English Grammar 2 (x6)	VC			915,450		ｼﾞｪﾑｺ	完了時制
91	文法	Video English Grammar 3 (x2)	VC			915,450		ｼﾞｪﾑｺ	仮定法
92	文法	Video English Grammar 4 (x4)	VC			915,450		ｼﾞｪﾑｺ	比較
93	文法	Video English Grammar 5 (x3)	VC			915,450		ｼﾞｪﾑｺ	受動態
94	文法	Video English Grammar 6 (x3)	VC			915,450		ｼﾞｪﾑｺ	不定詞
95	文法	Video English Grammar 7 (x4)	VC			915,450		ｼﾞｪﾑｺ	分詞
96	文法	Video English Grammar 8 (x2)	VC			915,450		ｼﾞｪﾑｺ	動名詞
97	文法	Video English Grammar 9 (x5)	VC			915,450		ｼﾞｪﾑｺ	関係詞
98	会話	Video English 1-8 (x8)	VC			948,000		ﾏｸﾐﾗﾝ	英国人俳優による自然なﾀﾞｲｱﾛｸﾞから、身振り、背景知識など
99	会話	Vistron:The Language of Presentations (x2)	VC			123,600		ﾛﾝｸﾞﾏﾝ	Student's Book ¥1,709 Teacher's Book ¥3,666
100	会話	Walter & Connie Reporting 1-3	VC			950,470		伸興通	新聞記者とその家族・隣人・友人たちの日常会話39 中級 BBC制作
101	事情	Your Life in Your Hands 1/2	VC			961,800		ﾛﾝｸﾞﾏﾝ	ﾛﾏﾝﾁｯｸｺﾒﾃﾞｨｰ仕立ての話 ｱﾒﾘｶﾝ・ﾗｲﾌｽﾀｲﾙ
102	事情	London	VC			39,140		伸興通	英国政府観光庁の観光案内ﾌｨﾙﾑから抜粋
103	事情	Look Speak & Travel (x7)	VC			95,790		ｼﾞｪﾑｺ	海外旅行する上で必要な英会話をすべて網羅
104	事情	Paris	VC			39,140		伸興通	ﾊﾟﾘの名所や街路の映像と語学的に吟味されたﾅﾚｰｼｮﾝ 語彙・文法
105	事情	Travel and Tourism	VC			41,200		ﾛﾝｸﾞﾏﾝ	Text ¥1,648
106	Read	American Short Story (x16)	VC			946,350		ｼﾞｪﾑｺ	著名な作家の代表的な短編小説を脚色したﾃﾚﾋﾞﾄﾞﾗﾏ
107	Read	The Blind Detective	VC			49,800		ﾛﾝｸﾞﾏﾝ	ﾛﾝﾄﾞﾝを舞台とした7編の探偵物語 事件の提示・ｸﾗｲﾏｯｸｽ・解決
108	Read	The Carsat Crisis (x4)	VC			9197,966		ﾒﾅｰﾄﾞ	近未来を舞台に宇宙でのﾜｸﾁﾝ生産計画に降りかかる危機 中・上級
109	Read	Double Trouble	VC			40,994		ﾛﾝｸﾞﾏﾝ	3人の子供がﾄﾗﾌﾞﾙを乗り越えてやっとｶﾌﾟﾌﾟｸﾞﾙｰﾌﾟを作る
110	Read	An Englishman Abroad 国を捨てたｽﾊﾟｲ	VC			51,500		日本ﾚﾝ	1958年のﾓｽｸﾜを舞台に諜報部員が繰り広げるｽﾊﾟｲﾄﾞﾗﾏ
111	Read	Race the Music	VC			80,000		ﾛﾝｸﾞﾏﾝ	ｲｷﾞﾘｽを舞台にした青春ﾄﾞﾗﾏ 中級
112	Read	Family Affair (x2)	VC			84,768		ｼﾞｪﾑｺ	英国のﾃﾚﾋﾞ脚本家によるﾛﾝﾄﾞﾝを背景にしたﾃﾚﾋﾞﾄﾞﾗﾏ風ｽﾄｰﾘｰ
113	Read	Family Encounter (x2)	VC			951,500		ｼﾞｪﾑｺ	ｱﾒﾘｶの中流家庭の両親と子供をﾃｰﾏにしたﾄﾞﾗﾏ
114	Read	Living in Washington	VC			51,294		ﾛﾝｸﾞﾏﾝ	ﾜｼﾝﾄﾝ州立大学の3人の学生が繰り広げるｷｬﾝﾊﾟｽﾗｲﾌ
115	Read	Marriage Encountor (x3)	VC			941,200		ｼﾞｪﾑｺ	米国の若い男女の交際・求愛・婚約・結婚
116	Read	Walt Disney Film as Literature Series(x18)	VC			920,600-		ｼﾞｪﾑｺ	ﾃﾞｨｽﾆｰ映画を使った教材ﾋﾞﾃﾞｵ
117	Read	Walt Disney Winnie the Pooh Series (x4)	VC			925,750		ｼﾞｪﾑｺ	ﾃﾞｨｽﾆｰ映画を使った教材ﾋﾞﾃﾞｵ

No.

ＡＶデータカード　入力 1990年 9月

タイトル	Top of the World
歌手・主演他	Carpenters
監修・編集者	
発行・発売先	A&M Records
価格	3,008 円　時間　0 時間 3 分
メディア	A［カセット・CD］　V［VHS・ベータ・8ミリ・LD］

言語材料＜文法＞	① 関係代名詞　［時分］ ② ［時分］
題材＜内容＞	① ［時分］ ② ［時分］
対象学年	中学 入門 1年 2年 3年 / 高校 1年 2年 3年 入試
難易度	Listening：難 わつう 易 Vocabulary：
教科書対応	教科書名 中学：New HORIZON 3 第 5 課（p.31）
関連教材	自主教材　市販教材（銘：　）
備考	ゼロ関係詞, that CD "The Singles 1969-1973"

情報提供者（　）

No.

ＡＶデータカード　入力 1991年 7月

タイトル	The Wizard of OZ（オズの魔法使）
歌手・主演他	ジュディ・ガーランド主演
監修・編集者	ビクター・フレミング監督（1939・米）
発行・発売先	MGM
価格	円　時間　1 時間 40 分
メディア	A［カセット・CD］　V［VHS・ベータ・8ミリ・LD］

言語材料＜文法＞	① 仮定法過去　［0 時 32 分］ ② ［時分］
題材＜内容＞	① ［時分］ ② ［時分］
対象学年	中学 入門 1年 2年 3年 / 高校 1年 2年 3年 入試
難易度	Listening：難 わつう 易 Vocabulary：
教科書対応	教科書名　第　課（p.　）
関連教材	自主教材・市販教材（銘：　）
備考	

情報提供者（　）

No.

ＡＶデータカード　入力 1991年 9月

タイトル	BBC Essential English Guide to Britain
歌手・主演他	
監修・編集者	Bob Marsden
発行・発売先	BBC English
価格	6,800 円　時間　1 時間 00 分
メディア	A［カセット・CD］　V［VHS・ベータ・8ミリ・LD］

言語材料＜文法＞	① ［時分］ ② ［時分］
題材＜内容＞	① イギリスの交通機関（バス, タクシー, 地下鉄, 鉄道）［0 時 5 分］ ② ［時分］
対象学年	中学 入門 1年 2年 3年 / 高校 1年 2年 3年 入試 →
難易度	Listening：難 わつう 易 Vocabulary：
教科書対応	教科書名 中学：New HORIZON 3 8 53 高校：SUNSHINE 1 第 7 課（p.　）
関連教材	自主教材　市販教材（銘：Spotlights on Britain / OUP）
備考	テキストあり（カラー 96頁）

情報提供者（　）

No.

ＡＶデータカード　入力 1990年 2月

タイトル	アメリカ公民権運動 1～4
歌手・主演他	
監修・編集者	
発行・発売先	NHK教育テレビ
価格	円　時間　時間 各 45 分
メディア	A［カセット・CD］　V［VHS・ベータ・8ミリ・LD］

言語材料＜文法＞	① ［時分］ ② ［時分］
題材＜内容＞	① 公民権運動　［時分］ ② スピーチ　［時分］
対象学年	中学 入門 1年 2年 3年 / 高校 1年 2年 3年 入試 →
難易度	Listening：難 わつう 易 Vocabulary：
教科書対応	教科書名 中学：New CROWN 2 Let's Read 第　課（p.83）"I Have a Dream"
関連教材	自主教材・市販教材（銘：　）
備考	1988年 6～7月に 4回シリーズで放送

情報提供者（　）

7．3　データカードの項目

各項目を設ける際に重視したことは「検索のしやすさ」である。どんなに良い材料でも，検索しにくければ使い物にはならないからである。

A．形式面のデータ

①タイトル，②歌手・主演他，③監修・編集者，④発行・発売先，⑤価格，⑥時間，⑦メディアの7項目は，今までのリストにもあったカタログ的なデータである。こういった項目は，購入する時に役に立つ。材料の種類によっては，項目に対応する記入すべき事項がない場合がある。その場合は空欄でかまわない。

B．内容面のデータ

中学校・高校の授業で扱う内は無限ではない。言語材料は決まっている。また題材も教科書に出て来る物に限って言えば各社ともかなり重複が見られる。大雑把にとらえれば，言語材料，題材ともにそれは多くない数に限られていると言ってよい。

我々がふだん教科書を使って授業をする際には，扱う課の言語材料，題材を2本柱として計画とたてる。従ってこの二つが，検索題目としては最も大切なものとなる。

①言語材料（文法事項，重要な表現）：歌詞や映画のセリフの中には，文法事項等の導入に非常に役立つ物が多い。自然な場面で使われている例から提示するためにも，活用する価値は高い。カーペンターズの歌，映画「オズの魔法使い」を具体例として参照されたい。

②題材（内容）：絶えず気をつけてアイテナを張り，材料集めをしておくべきである。とっさに集めようとしても，まず出来るものではない。授業で活用する時を考えて，あらかじめコツコツと収集しておく方が良い。

③対象学年，④難易度：厳密に考えずに，大体のところで位置づけるだけでも，ないよりは良いのではないか

⑤教科書対応：必要に応じて記入しておくと検索が一層やりやすくなる。

⑥関連教材：自作のプリント，市販の教材等で同時に利用できるもの。

⑦備考：その材料の特色，長所等何でも気づいたことは書いておいた方が良い。

⑧情報提供者：誰のアイディアなのかを明確にしておく。

久保野（1991）では，多くの仲間にアイディアの提供を呼びかけている。このデータカード自体には改善すべき点も多いが，とりあえずこれを基にして，教材のデータベース化の試みを続けて行くつもりである。データカードのコンピュータ化については，須貝猛敏氏（筑波大学附属高校）に色々とアドバイスを頂いた。この場を借りて感謝の意を表したい。

参考文献

浅田寛厚他（1990）「ベスト・ビデオ・コレクション'90」『ACTIVE ENGLISH』1990年　8月号，アルク

阿部　一（1991）『AV時代のコミュニケーション英語戦略』研究社

伊藤健三他（1991）『新・英語要覧――楽しく学ぶ英語の世界』大修館

磐崎弘貞（1990）『こんなこともできる・英英辞典活用マニュアル』大修館

坂　雅人（1979）『英和対訳文庫　I　小さな恋のメロディ』南雲堂

迫村純男（1990）「憧れのスターが英語の先生・英語で覚える英会話応答表現100」『ACTIVE ENGLISH』1990年8月号，アルク

田中正造（1991）『コミュニケーション志向の英語教材開発マニュアル』開隆堂

二宮正男（1991）「英語授業の雰囲気」『英語の窓』№286，中教出版

早見　優（1984）『役に立つ映画セリフ集の巻』（財）日本英語教育協会

Rosen, Alan・福田昇八（1982）『ロックの心1――ロックで英語を』大修館

Rosen, Alan・福田昇八（1983）『ロックの心2――ロックで英語を』大修館

Rosen, Alan・福田昇八（1985）『ロックの心3――ロックで英語を』大修館

Rosen, Alan・福田昇八（1986）『ビートルズの心――』大修館

渡辺幸俊（1987）『洋画ビデオ　名場面・名セリフ』ジャパンタイムズ

渡辺幸俊（1987）『ビデオで楽しむシネマ英会話』ジャパンタイムズ

渡辺幸俊（1991）「完全保存版・名作映画ビデオ名場面名セリフ」『百万人の英語』1991年12月臨時増刊，（財）日本英語教育協会

語学ラボラトリー学会(LLA)関東支部（1986）『LL教育機器活用ハンドブック』愛育社

アルク地球人ムック・76『映画で英語をモノにする・ビデオ活用大百科』アルク，1991年

「永久保存版『映画の名セリフ』集（1934－1984）――いま甦る，あのなつかしいの名場面――」『時事英語研究』1984年6月号，研究社

「――（Part Ⅱ）『時事英語研究』1985年6月号，研究社

松浦啓介（1991）「高校用市販視聴覚教材リスト」『東京都高等学校視聴覚教育研究・1991年』東京都高等学校視聴覚教育研究会

久保野雅史（1991）「中高におけるAV教材のデータベス化の試み」『第33回高等学校教育研究大会報告集（その1）』全国国立大学附属学校連盟高等学校部会